

研究テーマ	生活や社会との関わりを深める技術・家庭科教育
生活や社会との関わりを深める手立て	自分たちが育てている作物の状況と、実際に売られている作物を比較し、どのような手立が必要なのかを検討し、発表する。

## 第2学年2組 技術・家庭科（技術分野）学習指導案

指導者 ○○ ○○

## 1 題材名 葉もの野菜の栽培

## 2 題材の目標

- 生物育成に関する技術について関心をもち、そのあり方や活用の仕方などに対して判断・評価し、主体的に活用しようとしている。（生活や技術への関心・意欲・態度）
- 生物育成に関する技術を合理的かつ適切に評価・活用し、生活上の技術的な課題の解決のために工夫し創造することができる。（生活を工夫し創造する能力）
- 生物育成に関する基礎的な技術を身に付け、その技術を安全かつ適切に活用できる。（生活の技能）
- 生物育成に関する基礎的な知識を身に付け、生物育成に関する技術が生活や環境に果たしている役割と影響について理解している。（生活や技術についての知識・理解）

## 3 題材について

## (1) 題材観

生物育成に関する技術では、基礎的・基本的な知識及び技術を習得させると共に生物育成に関する技術が社会や環境に果たす役割と影響について理解を深め、それらを適切に評価し活用する能力と態度を育成することをねらいとしている。これらのねらいを達成するための教材として、学年の規模や、実習のスペースから、葉もの野菜をプラスチックコップで栽培することにした。また30日程度で収穫ができる作物を選び、学習計画の中で2回実習に取り組み、学び合いを通し理想の作物が栽培できるよう自分や友人の作物を見比べ、収穫に向けてどのような作業をすれば良いのか考え判断したり、その内容を栽培計画表を利用し表現する能力を身に付けさせると共に、今後の実生活でも生物育成を積極的に取り組めるような姿勢を育てていきたい。

## (2) 生徒の実態

生物育成に関するアンケート（男子17名 女子18名 計35名）

質問項目	回答
① これまでに何種類の植物を育てましたか	～5種類 21名 ～10種類 9名 ～15種類 3名 15種類～ 1名
② 栽培の目的は何か	鑑賞用 10名 食用 25名
③ 収穫した作物はどのように調理しますか	スープ 23名 サラダ 25名
④ どんなことに注意し栽培しますか	虫対策 18名 水の管理 12名 日光に当てる 5名 観察 2名 目的に合った作物 5名 バランス1名

本学級の生徒は学習への取り組みが意欲的で、授業にも活気がある。生徒は小学校でのそれぞれの授業から5、6種類の植物をこれまでに育てた経験がある。しかし、これまでの授業では、種子の取り扱いがうまくできず発芽しなかったり、苗を雑に扱い苗を折ってしまったりする生徒もいた。このようなことから授業では、植物の扱い方や命の大切さについても考えさせるようにし工夫していきたい。また、今回の栽培実習では、目的に応じた栽培方法を考えるため、収穫後家庭科でスープかサラダへの調理し実際に食べることを目標とし、それぞれの調理に適した野菜を考え栽培をおこなうようにする。

## (3) 指導観

これまでに野菜の栽培方法や栽培計画をまとめ、収穫までにはどのような作業があるのかを調べた。本時はその計画を基に、今現在の育成状況を考察すると共に、自分の栽培方法に合った今後の手立てを考えることで、適切な対応を工夫する能力を高めていきたい。そして、その内容を、グループ内で話し合い、文章に表すことで、収穫に向け今後の見通しを持つことや、言語能力の向上にも努めたいと考える。また、栽培実習を通し、計画表の作成から収穫までの見通しを持ち、より良くしていこうとする態度を育成したい。その上でこの内容は、日常の生活にも当てはまることを知らせ、生活でも予定を考え見通しを持って生活するとこの必要性を理解させ、本時の学習内容を実生活へ一般化し、より良い生活が送れるようにしていきたい。

## 4 学習計画（12時間扱い）

次	時	学 習 内 容	関意態	工・創	技能	知・理
1	3	生物を育てる技術の特徴を知ろう	◎	○		○
2	1	生物を育てるための計画を考えよう		○	◎	
	1	作物の種をまこう	○		◎	
	3	栽培に必要な条件を整えよう	○		◎	○
	1	生育状況を話し合いより良くする手立てを考えよう (本時)		◎	○	
	1	収穫し作物の評価をしよう		◎		○
3	3	生物を育てる技術の評価と活用を考えよう	○			◎

5 本時の学習

(1) 目標

生育状況を話し合いより良い手立てを考えよう

(2) 準備・資料 ・個人の作物 ・ワークシート ・栽培計画表

・ノートパソコン ・プロジェクタ

(3) 展開 (・留意点 ◎生活や社会との関わりを深める手立て   評価)

学習内容及び活動	指導上の留意点と評価
<p>1 本時の学習内容を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">買ってもらえる野菜を育てよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習内容、作業内容を確認し振り返り本時の学習内容を知らせるようにする。</li> <li>・生徒の意欲が高まり積極的に学びあえる課題を設定する。</li> </ul>
<p>2 育てている作物をグループ内で、観察し現在の状態を把握し、レポートにまとめる。</p> <p>(1) 葉の枚数や茎の太さ。草丈などを観察する。</p> <p>(2) 水、温度、肥料、日照、害虫、病気の状況を、グループ内で見比べ判断する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察した内容を、自分のレポートに記入できるようにする。</li> <li>・各班に設置したノートPCを活用し観察した内容を各レポートに追記する。</li> <li>・グループ内の作物を見合い葉や茎から水の管理状況、肥料の状況、日当たりの状況、害虫や病気について観察し状況を考えまとめる。</li> <li>・自分の作物の状況が判断が付かない生徒には、グループ内のもの葉や茎などを見比べどうなっているか確認するようにする。</li> <li>・病気や害虫、追肥などの作物の状態にあった内容を考え判断する。</li> <li>・グループ内で作業内容やその理由について話し合い自分の内容と比べ、確認する。</li> <li>◎実際に売っている作物と自分の作物を見比べてみるようにする。</li> </ul>
<p>3 買ってもらえるような野菜に育てるには、今後どのように栽培をすれば良いのかを考える。</p> <p>買ってもらえそうな野菜とは</p> <p>(1) サラダ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みずみずしい野菜</li> <li>・味がする野菜</li> </ul> <p>(2) スープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・煮崩れしない丈夫な野菜</li> <li>・味がする野菜</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎売れる作物を栽培するために注意すると共に、行わなくてはならない作業を考えレポートにまとめる。</li> <li>・条件の違いから個人で行う作業内容の違いがあることを知らせる。</li> </ul>
<p>4 今後の作業について発表をする。</p> <p>今後の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日照時間</li> <li>・肥料の管理</li> <li>・水の管理</li> <li>・害虫や病気への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各班でまとめた内容をプロジェクタで投影し、発表を行う。</li> <li>・各班の発表を聞き、今後の作業内容や栽培計画を見直すようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">栽培計画表を見直し、今後の作業内容をまとめることができる。 (工夫・創造：栽培計画表ワークシート)</p> </div>
<p>5 本時の作業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水かけ</li> <li>・間引き</li> <li>・追肥</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話合った内容から本時に作業することを確認し、自分の作物に合った作業を行う。</li> </ul>
<p>6 本時の反省をし次時の内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習を振り返り反省や感想を記入する。</li> <li>・収穫に向けての作業と、レポートのまとめを行うことを伝える。</li> </ul>